令和7年度　事業計画

◇　基本方針

秩父開発機構は、首都圏住民の余暇活動需要の適切な吸引を図り、秩父圏域等の振興に寄与することを目的に設立された第三セクターであります。 令和７年度においては、令和5年度に策定した「中期経営計画」（令和9年度までの5年間）に基づき、埼玉県より受託している秩父ミューズパーク及び長瀞射撃場の指定管理業務を事業の柱とし各種事業を展開するとともに、新規事業の検討と既存事業の活性化に努め、経営基盤安定化と営業成績の向上を図ってまいります。

1　指定管理業務　秩父ミューズパーク

利用者本位の適切な管理運営のもと、モミジによる新名所つくり事業の推進をはじめ、自主事業やイベントの誘致、多様な情報発信などの利用者サービスの充実を図り、利用者満足度８５％以上を基本目標とし、前年度数値を下回らない努力をしてまいります。
また、令和6年度は工事により使用できなかった音楽堂及び野外ステージを活用したイベントの誘致や、キッチンカー営業の更なる拡大などを通じて自主事業収入の増加に繋げたいと考えます。

◎主な事業の内容

（1）モミジの紅葉による新名所づくりのための整備事業
- ①　実生苗（秩父ミューズパーク産モミジ）の育成
- ②　剪定・間伐・成木の植栽等による整備

（2）多様な広報活動
- ①　オリジナルホームページとSNSを活用した情報発信
- ②　公園パンフレット、イベントチラシ等による情報発信
- ③　秩父ミューズパーク連絡会議の運営
- ④　地元FMにおける提供番組の放送

（3）利便性の向上と賑わい創出事業
- ①　コンシェルジュとしてのご案内サービス
- ②　ユニバーサルサービスの充実
- ③　ダイバーシティ対応
- ④　分かりやすい案内表示、園内掲示物の掲示物の見直し
- ⑤　雲海発生時の利用者サービス
- ⑥　チューリップ１万本プロジェクト
- ⑦　環境保全活動

（4）自主事業の実施
- ①　音楽堂・野外ステージ等を使った自主事業の実施
- ②　公園インストラクター事業
- ③　園地を使った自主事業
- ④　飲食店営業の委託
- ⑤　キッチンカーの営業
- ⑥　キャンプ場の営業
- ⑦　観光望遠鏡の営業
- ⑧　木工祭の開催
- ⑨　地場産品を使用した公園オリジナル商品の開発・販売

（5）大規模イベント誘致

2　指定管理業務　埼玉県長瀞射撃場

設置目的である「射撃技能の向上と銃による事故の防止及び射撃競技の発展」のため、安全安心の徹底を図り、競技会等の開催や技能講習等をはじめとする自主事業に取組ます。
依然として大幅な利用者増加は困難な状況ですが、「長瀞射撃場杯」などの利用者増加策により収入増加に努めたいと考えます。
また、令和6年より継続されている長瀞射撃場あり方検討委員会の結果が出た場合には、沿った対応を検討してまいります。

◎主な事業の内容

（1）安全・安心の確保

①　銃及び装弾による事故未然防止に向けた取り組み
- ・　技能講習における銃の安全操作の徹底及び射手の技能向上促進
- ・　場内巡回及び監視モニターによる安全確認
- ・　射撃場内における取扱注意事項掲示
- ・　受付窓口等においての利用者への注意呼びかけ
- ・　利用者への注意喚起書類の配布
- ・　標的（電子標的）及び附属する設備、照明器具等の適切なメンテナンス
- ・　危機管理マニュアルの見直し
- ・　バックストップの廃弾回収・整備作業
- ・　場内草刈り・清掃作業
- ・　標的設備、照明器具、バッフル等の適切なメンテナンス

（2）射撃大会及び合宿等の誘致

①　射撃大会等の開催

射撃団体、猟友会、銃砲店、学生射撃部など大会の実施

主な大会として・・
- ・　春夏秋冬　4回開催の全国ピストル射撃競技大会（50m,10m）
- ・　第 80 回国民体育大会関東ブロック大会
- ・　JOC ジュニアオリンピックカップ　など

（3）自主事業の実施
- ①　教習射撃及び技能講習の実施
- ②　ビームライフル教室、エアライフル・小口径ライフル初心者講習会
- ③　狩猟者を対象とした射撃大会及び研修会の実施
- ④　長瀞射撃場杯の実施
- ⑤　長瀞周辺マップの作成
- ⑥　銃保管業
- ⑦　銃販売事業
- ⑧　エアライフル空気充填サービス
- ⑨　オリジナルグッズの販売
- ⑩　大規模大会時のキッチンカー営業
- ⑪　SNSによる情報発信

3　観光振興事業

（1）秩父地域活性化への取組
- ①「 マチコミ　ちちぶだより」の情報番組連絡協議会
- ・　ちちぶだより　年6回　金曜日 16：30～　約 8 分間放映
- ②　観光キャンペーン等の誘客活動
- ③　地域振興活動への参画
- ・　芝桜まつり期間の　芝桜の丘「観光案内所」への職員派遣　など

4　経営基盤安定化に向けた取り組み

（1）秩父ミューズパークの新名所づくりに向けた事業の推進
（2）新規事業の検討、既存事業の見直し　ですが
（3）DX の推進等による生産性向上や経営効率化、サービス向上に向けた取組
（4）あり方検討委員会の提言の対応